

標準測定分析法 2219

エピクロロヒドリン

分子量： 92.52

CAS RN： 106-89-8

濃度基準値：0.5 ppm	物性等 比重：1.1812 沸点：117.9°C 融点：-48°C 蒸気圧：1.67 kPa (20°C)
---------------	---

別名：

以下の測定法に使用する物品は、現在販売の無いものもあるが、同等の性質のものを使用して差し支えない

サンプリング例	分析例
サンプラー：活性炭管 (100 mg/50 mg) 捕集流量：0.2 L/min サンプリング時間：240 min 保存性：1 週間安定 破過：0.26 ppm 0.1 L/min, 240 min 破過なし	分析方法：ガスクロマトグラフ-FID 分析法 (GC/FID) 脱着二硫化炭素 1 mL で 30 分静置 カラム：1.8 m x 2-mm ID glass; 80/100 Chromosorb 101 キャリヤーガス：N ₂ or He, 20 mL/min カラム温度：135°C 注入口温度：175°C 検出器温度：215°C 検量線：0.04~1.2 mg/サンプル エピクロロヒドリン/二硫化炭素
精度	
脱着率(添加回収率参照) 添加回収率 90.5% at 11.7 to 43.1 mg/m ³ 確認範囲 11.7 to 43.1 mg/m ³ (0.14-0.48 ppm at 0.1 L/min, 240 min) 検出下限 1 µg/sample (0.011 ppm at 0.1 L/min, 240 min)	

適用：個人ばく露濃度測定 八時間時間加重平均

測定上の注意：

安全上の注意：エピクロロヒドリンは皮膚腐食性・刺激性、眼に対する重篤な損傷・刺激性、皮膚感作性があり、二硫化炭素とともに、化学防護手袋や保護眼鏡の使用が必要である。吸入による有害性もあるので、ドラフトで作業する。

根拠文献：

リスク評価事業の文献はない

参考文献：

1)NIOSH NMAM 1010 4th Ed.

作成日 2024/01/31